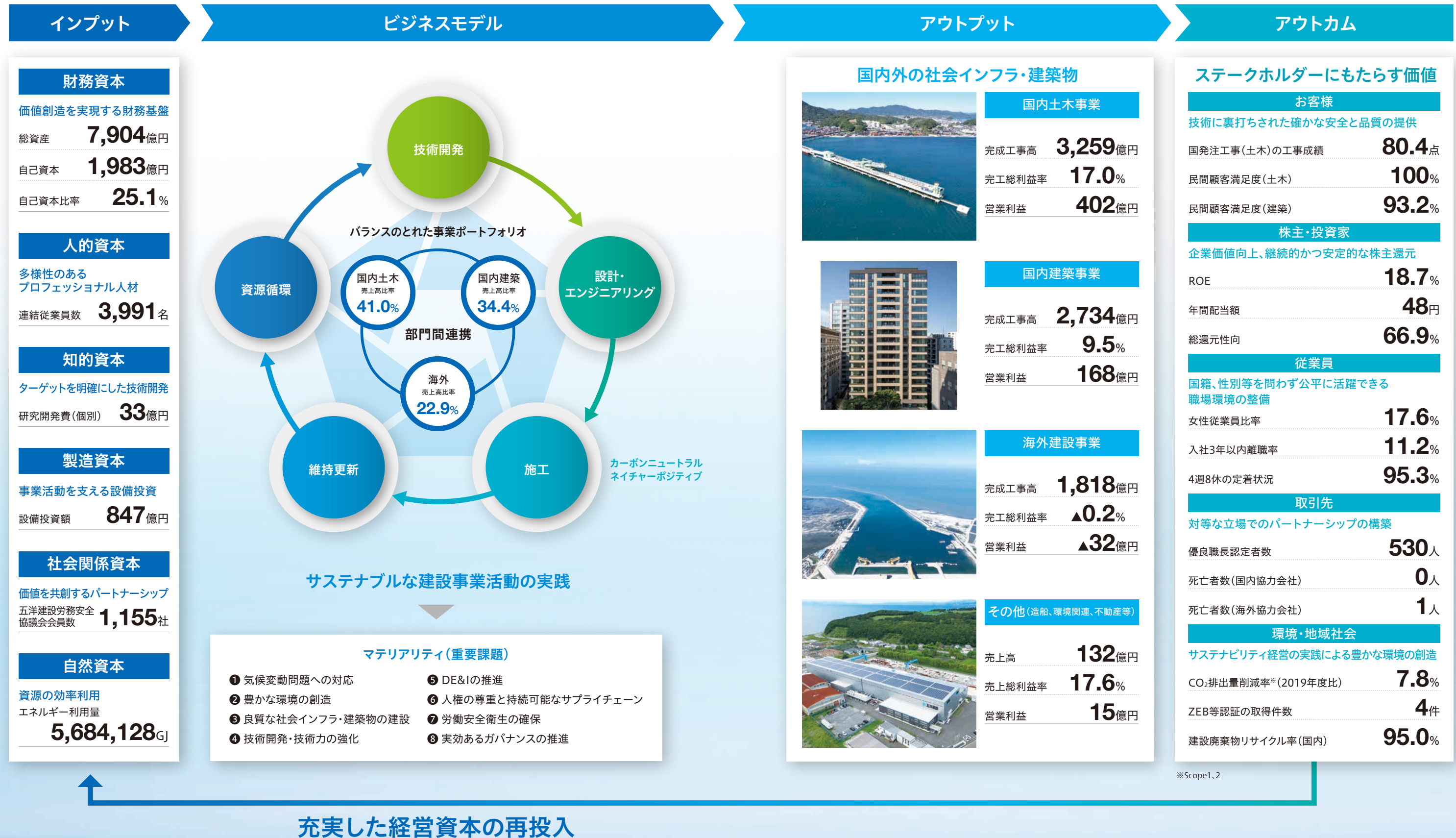


価値創造プロセス

五洋建設グループは、企業の中長期の成長と、社会の持続的な発展の両立を目指し、本業の成長戦略とESG重視のサステナビリティ経営を経営の両輪として推進しています。

2025年度実績または2025年度末数値



ビジネスモデルと強み

当社は長年にわたる歴史の中で、4つの強みを培ってきました。これらの強みのもと、3部門が連携し、「技術開発」「設計・エンジニアリング」「施工」「維持更新」「資源循環」のバリューチェーンにおいてサステナブルな価値を生み出し、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

五洋建設グループのバリューチェーン



DE&Iの推進により、多様な人材が支える事業活動

- ・女性、キャリア、外国籍、障がい者などの積極的な採用やシニア社員の活躍推進など、多様な人材が活躍できる職場環境を構築
- ・250名以上の新卒採用、及び50名以上のキャリア採用を行うとともに、様々な教育・研修制度により若手社員を早期に戦力化
- ・すべての社員が、働きがいを感じながら事業に貢献できるように、家庭(育児、介護)と仕事の両立など、ワークライフバランス向上に資する積極的な取り組みや職場環境の整備

4つの強み

臨海部 ナンバーワン

- ・臨海部の豊富な施工実績(埋立、浚渫、港湾、海底トンネル等の海洋土木や物流施設、クルーズターミナル等の建築など)
- ・海洋土木分野の卓越したエンジニアリング力、施工力(技術開発から提案、設計、施工、維持補修まで)
- ・海洋環境分野の先進的な取組み(藻場・干潟の造成、建設発生土・浚渫土リサイクル、ブルーカーボン)



東京港 海の森トンネル



東京国際クルーズターミナル

グローバル 展開

- ・1961年スエズ運河改修工事を機に海外に本格進出(当社のDNAである進取の精神の実践の象徴)
- ・2024年シンガポール進出60周年、2026年香港進出40周年(海洋土木から建築、陸上土木へ、シンガポール国土の約10%の拡張に貢献、シンガポールに本社機能)
- ・質の高いインフラ輸出(ODA)に貢献(東南アジアを中心に、南アジアからアフリカ、大洋州)



パシルバンジャン コンテナターミナル
(シンガポール)



ION オーチャード・ジオーチャードレジデンス
(シンガポール)

部門間連携

- ・土木・建築、国内・海外の連携、それぞれの強みを活かす
- ・土木・建築の連携(建築の基礎工事を土木が担当;軟弱地盤克服、地下水制御、インフラとの近接施工等)
- ・国内・海外の連携(グローバルDXセンターを核とした連携強化、日本の土木技術の海外での活用、海外土木技術の国内土木での活用)



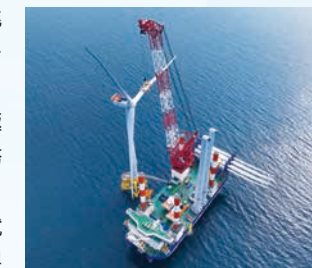
ヨドバシ 梅田タワー



MTR 沙田至中環線1121工区海底トンネル
(香港)

進取の精神の 実践

- ・洋上風力建設のフロントランナーとしての挑戦(積極的な作業船投資と150名超の人材を投入・育成)
- ・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の積極的な取組み(実プロジェクトおよび工事事務所のZEB化推進)
- ・室蘭製作所における水素エネルギー利用の試行(太陽光発電から水電解装置による水素製造・貯蔵と燃料電池による発電の利用を試行)



北九州響灘洋上ウインドファーム



久光製薬ミュージアム